

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	トキ生息環境保護推進協力費	担当部局庁	自然環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度	担当課室	野生生物課	課長 亀澤玲治			
会計区分	一般会計	施策名	5-3 野生生物の保護管理				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保全に 関する法律(第46条)	関係する計 画、通知等	保護増殖事業計画 日中共同トキ保護計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	平成15年度に締結し、平成22年度に更新した「日中共同トキ保護計画」に位置づけられている、日中のトキ保護協力に関する基本的枠組みに基づき、中国におけるトキの人工繁殖個体の野生復帰技術の向上を図り、日中トキ保護の技術交流を行う。さらに、本事業により得られた結果を我が国におけるトキの野生復帰に役立てる。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査 ②野生個体群の生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ③野生個体群非生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ④中国へのトキ移送に関する業務 ⑤日中トキ保護国際技術交流会議						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	24	22	20	16	17
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	24	22	20	16	17
	執行額	20	23	20			
執行率(%)	82%	103%	99%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	世界でも最も絶滅のおそれが高い鳥類であり、野生下では日中両国のみで生息するトキを絶滅の危機から救う。どのような数値を持って絶滅の危機から脱したと判断するかは検討中のため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・中国トキの野生復帰に向けた調査 ・日中間のトキ移送 ・日中トキ保護国際技術交流会議開催		活動実績 (当初見込み)	式	1 (1)	1 (1)	1 (1)
単位当たり コスト	各活動実績についてはまとめて契約し業務執行をしており、実績ごとに費用を分割して算出することは困難であるため、コストは示していない		算出根拠	-			
平成24・25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	16	17				
	計	16	17				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	トキは世界的に絶滅のおそれの高い種であり、国内での繁殖状況について国民から大きな関心が寄せられている。特に本年の繁殖期には野生下に放鳥された個体のペアからヒナが誕生し、国内外から祝福の声があがった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	野生復帰を進めることで我が国の生物多様性保全に大きな普及啓発効果がある。また、野生復帰を進める上で遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって中国との協力関係の強化は必要不可欠。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	トキの野生復帰は国が主体となって進めており、また新たな個体供与については中国との交渉を伴うため、国が実施する必要がある。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者の選定には公募を実施している。費用は中国における調査、日中間のトキ移送及び日中トキ保護国際技術交流会議開催等、必要なものに限定して使用されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	今後、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠である。これまで中国から5羽のトキの供与を受け、平成24年5月時点の飼育下個体数は200羽を超えるまでになっている。調査の内容は関係者で共有し、施策に反映している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠であるため、継続して事業を実施する。今後とも効果的かつ効率的に事業を実施していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的・効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	移送するトキの数が増えることが想定されるため、トキの移送に係る経費は増額するが、その他の経費は、事業を効率的に実施するよう努めることとし、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	164	平成23年行政事業レビュー	158

※平成23年度実績を記入

環境省
20百万円

【参加者確認公募】
A.(公財)日本鳥類保護連盟
20百万円

日中トキ生息保護協力事業
中国トキの野生復帰に向けた生息
環境改善のための調査、トキの引き
渡しにかかる事務等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	現地調査、トキの引渡し	6			
人件費	技師、調査員等	5			
雑役務費	通訳料、翻訳料、トキ運送費	4			
諸謝金	現地調査専門家謝金	3			
その他	その他(消費税、借損料等)	2			
計		20	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本鳥類保護連盟	中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査 トキの引き渡しにかかる事務等	20	1	79
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					